

GEN

GENとは？

- Maxの中の別の言語
- Low-Levelで機能する。
- つまりC++ にコンパイルされて動作する。

GENとは？

- パフォーマンスが大きく向上する。
- ビジュアル・エンバイロメントの中でのテキスト・ベース・コーディング
- Xcode などのコンパイラーは必要ない

GENとは？

gen~: オーディオ／シグナル・プロセッシング

jit.gen: CPUを用いてのJitterのマトリックスのプロセッシング

jit.pix: CPUを用いての4プレーンの映像マトリックス・プロセッシング

jit.gl.pix: GPUを用いるシェーダ言語

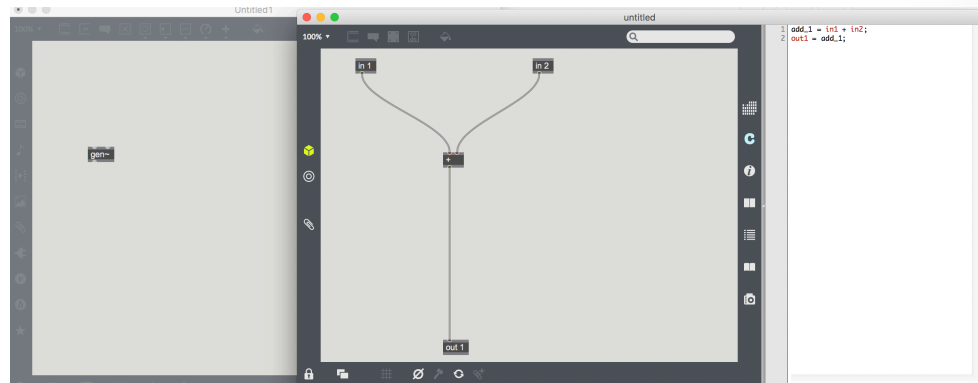
しかしMax自体は用いなければならない。

インストール

- <https://www.ableton.com/ja/trial/> よりデモ・バージョンをダウンロード
- Ableton Live 10に既にMax for Liveが含まれている。
- 30日間の無償体験ではLive 10 Suiteの全機能を使用できる。

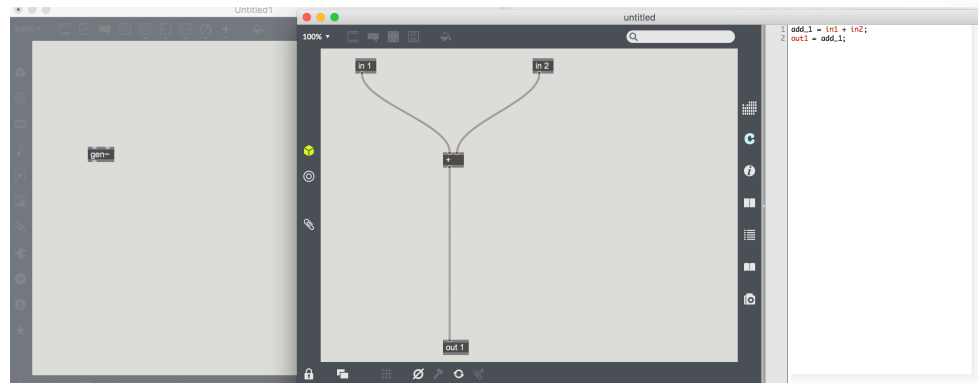
GENとは？

- **gen~**オブジェクトを作り、ダブル・クリックをすると、**GEN**のワークスペースが開く。
- 模擬側の**C**をクリックすると**C++**コードに変換されたものが開く。
- 下の**Auto-Compile**を**disable**しない限り自動でコンパイルされる。



GENとは？

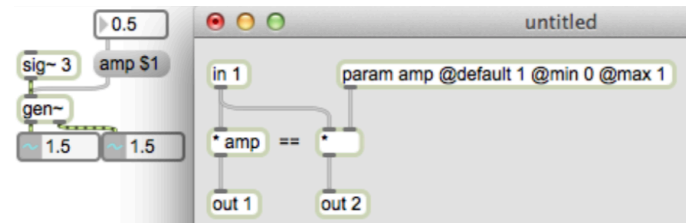
- Maxにほぼ同じ方法でプログラミングすることができる。
- しかし、オブジェクトや方法は異なる。
- このパッチが自動でC++にコンパイルされる。



基礎

param

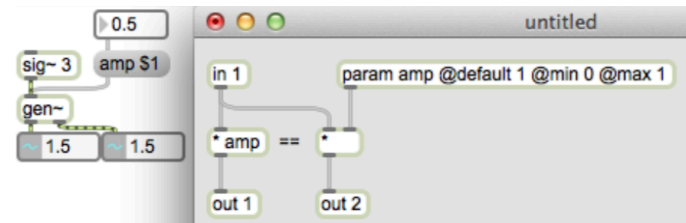
- Genパッチャー内のパラメーター
- 左の2つの例は同じ
- 1つはオブジェクト内に書く。
- もう1つはparamの次に名前を書く。さらにアトリビュートを加えることができる。



基礎

param

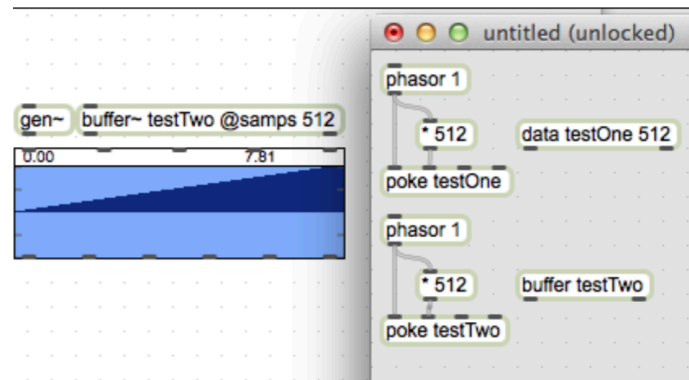
- ちなみに左の例の*では、オーディオ信号にも関わらずティルダは含まれていない。



基礎

Bufferとdata

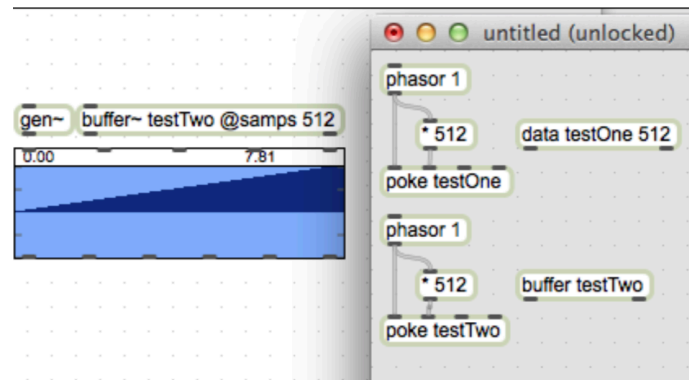
- BufferはMSPのbuffer
- Dataはサンプル・データを書き込んだり読みだりする。
- 名前を与えることによって、**poke**と**peek**のオブジェクトを通して**array**でアクセスできる。
- Bufferはgen~の外のbuffer~と関連づけられる。



基礎

Bufferとdata

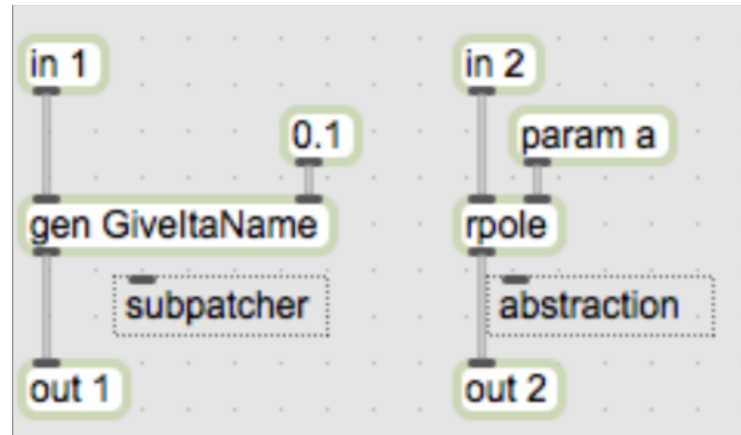
- BufferはMSPのbuffer
- Dataはサンプル・データを書き込んだり読みだりする。
- 名前を与えることによって、**poke**と**peek**のオブジェクトを通して**array**でアクセスできる。
- Bufferはgen~の外のbuffer~と関連づけられる。



基礎

サブパッチャーとアブストラクション

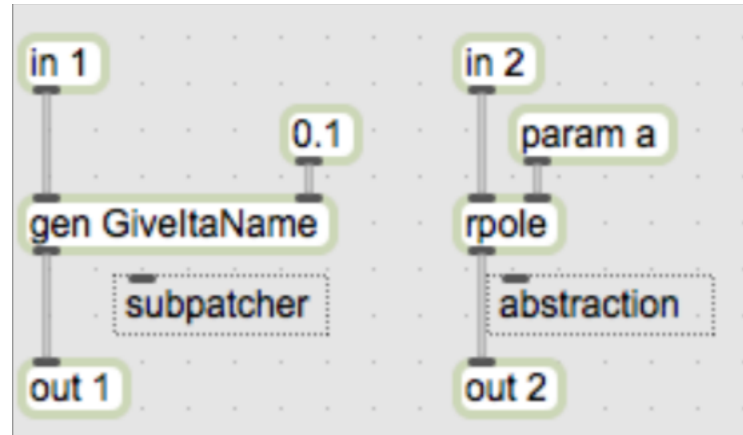
- Gen~内のサブパッチャーはgenを用いる。
- アブストラクションはMaxと同じ。
- それぞれダブルクリックすることによって開くことができる。



基礎

サブパッチャーとアブストラクション

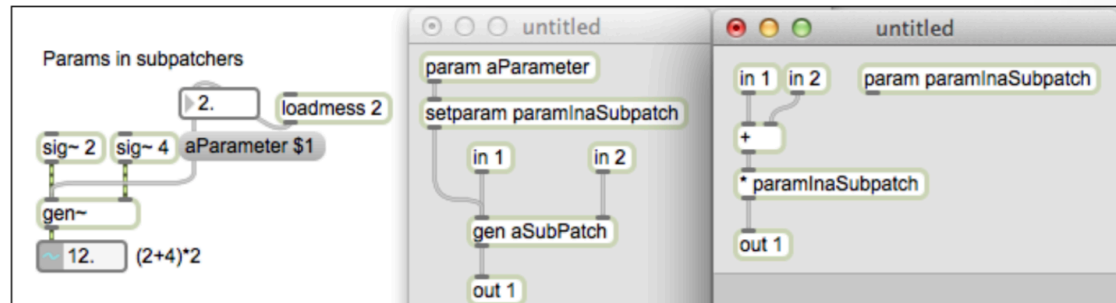
- それぞれ独自にセーブできる。
- Gen~では
*.gendsp が作られる。
- Jitter Gen では
*genjit が作られる。
- ファイルはサーチパス内になければならない。



基礎

サブパッチャーとアブストラクション

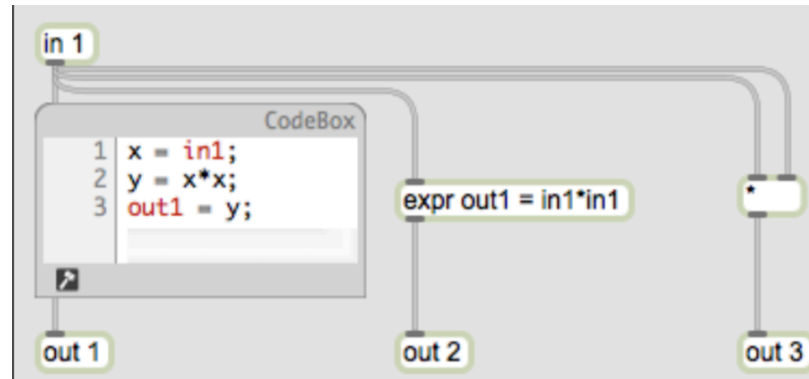
- サブパッチャーとアブストラクション内では`param`は用いることができない。
- サブパッチャー内の`param`にアクセスするためには`setparam`を用いる。
- Jitter Gen では`*genjit`が作られる。
- ファイルはサーチパス内にならない。



基礎

Genexpr と CodeBox

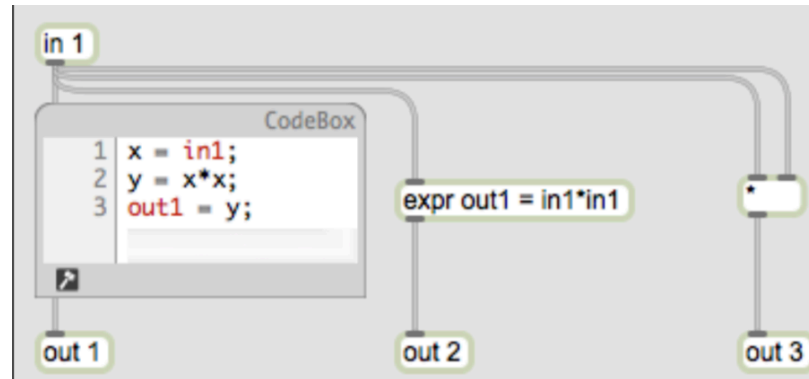
- Gen内でテキスト形式で書くこともできる。
- *.genexpr として書き出すことも可能。
- いずれコンパイルされるのでパフォーマンスの違いはない。
- 右の3つの例はいずれも同じ。



基礎

Genexpr と CodeBox

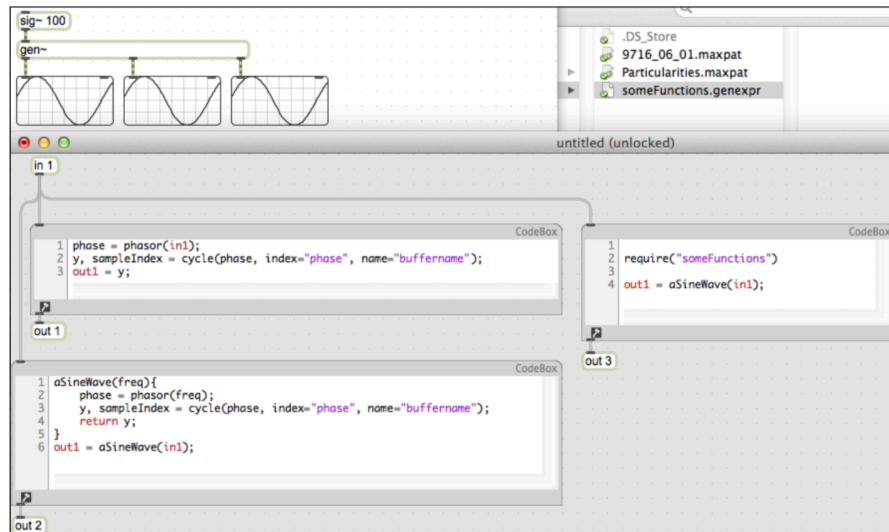
- CodeBox内ではC++のようなコードで書くことが可能。
- すでにあるコードをコピー／ペーストして用いることもできる。



基礎

Genexpr と CodeBox

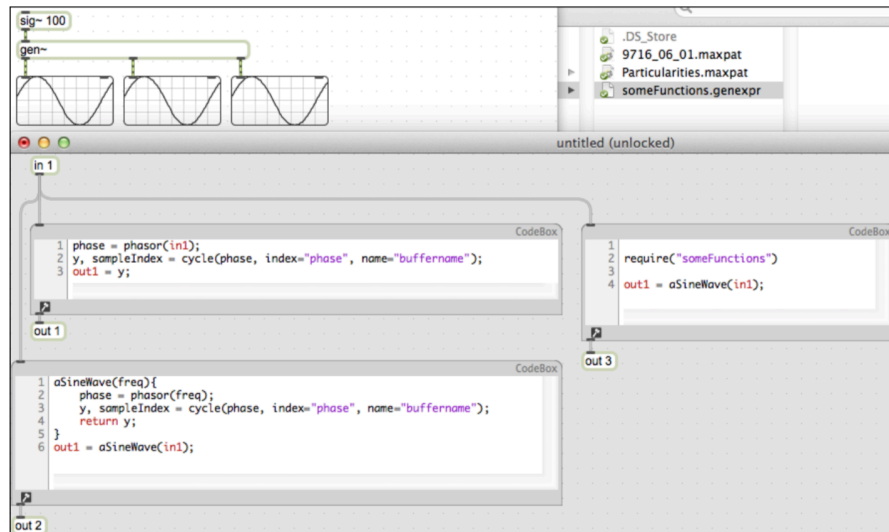
- Out1の例では
cycleの関数を用い
てサイン波を作っ
ている。



基礎

Genexpr と CodeBox

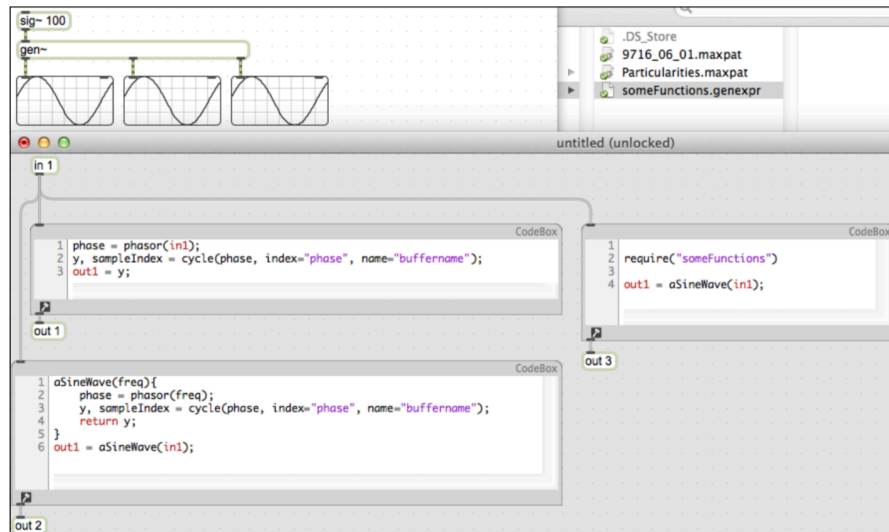
- Out2の例では
CodeBox内で関数
を作り、それを用
いている。
- Out2の場合でも
CodeBox内のアウ
トプットはout1と
書くことに注意。



基礎

Genexpr と CodeBox

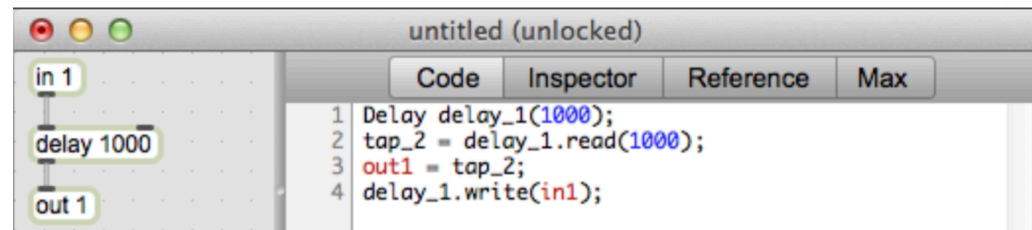
- Out3の例では外部でファイルで関数が作られたものを読んでいる例。
- 最初にrequireでそれを読む。
- そのファイルとは*.genexpr 形式でセーブされたもの。



基礎

Genexpr と CodeBox

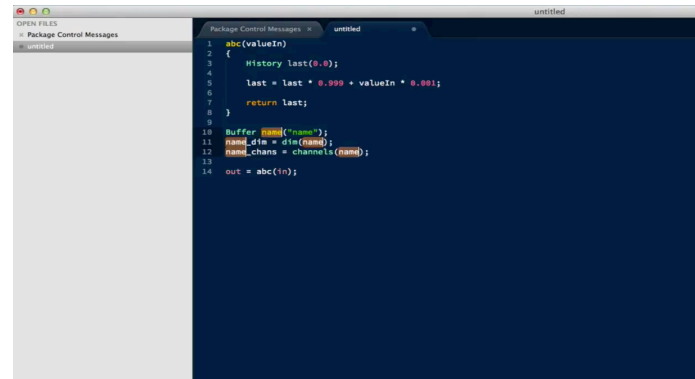
- Delayをcodeウィンドウで見た例。
- CodeBoxの書き方と似ている。



基礎

Genexpr と CodeBox

- Sublimetextを用いて書くこともできる。
- <http://www.e--j.com/index.php/genexpr-sublimetext/>



The screenshot shows a Sublime Text editor window with a dark blue background. The code is written in C++ and is as follows:

```
1 abc(valueIn)
2 {
3     History last(0.0);
4     last = last * 0.999 + valueIn * 0.001;
5     return last;
6 }
7
8
9
10 Buffer name("name");
11 name_dtm = dlm(name);
12 name_chans = channels(name);
13
14 out = abc(in);
```

基礎

パフォーマンス

- MSPよりも効率ははるかに良い。

qmetro 30 @active 1

getcpu

gen~ @dumpoutlet 1 @cpumeasure 1

cpu 0.000328

例

- CPUを多く用いる例に用いると良い。
- オーディオでは例えばフィジカル・モデリングやオーディオ・タイプ・シンセシス